



河川管理は国、県でも、 住んでいるのは市民

10月18日、「防災を語ろう！」と、地域の方との話し合いの場を持ちました。

会場には、地域の方のご厚意で、7月豪雨災害の被害写真を展示し、7月豪雨災害のビデオを上映し、7月豪雨による災害の激しさを肌で感じました。

百間川がとても心配

参加者の方から、「8月17日の山陽新聞『西日本豪雨で旭川下流の氾濫防止』の記事から、百間川への分流のおかげで、旭川下流の水位が1.5メートル下がったことや、中心部に被害が出なかったことを引用しながら、私は百間川の堤防の近くに住んでおり、百間川の水位が上昇が激しかったことを説明されました。このままで堤防は大丈夫なのか、水が超えてくることはないのか、とても心配した。」という、河川の状況に対する質問がありました。

笹が瀬川右岸地域の浸水被害同様に、百間川の右岸地域においても浸水被害が発生しています。また旭川、百間川流域の浸水被害は多くの地区で起こっています。

県管理の旭川ダムも「大量放流間際で回避」と報じられ、建部、御津、牧石学区等では浸水被害が発生しています。もっと降り続いたら、どうなっていたのかと恐ろしくなります。

平島地区で決壊した砂川は、下流で百間川

認可保育所一次
募集11/21まで

年度途中の入園申込
締切日、育児休業中
の利用時間などが変
更になっています。

に注いでいます。百間川の水位が下流で上昇すると、百間川の上流部では、さらに水位が上昇する恐れがあるのではないのでしょうか。

河川管理が国、県に分かれている

百間川の質問に対し、旭川は、管理者が大原橋を境に上流は岡山県、下流は国と分かれ、百間川は国管理、砂川は県管理、笹が瀬川は県管理のため、河川について岡山市の職員からは明確な答えはありませんでした。参加者から「河川管理は国、県でも、住んでいるのは市民」と意見が出され、会場から大きな拍手が occurred しました。

用水路、ポンプ場の管理も同様

「ポンプを3日間回し続けたが、床上浸水まで出た。ポンプがうまく動かないときがあった。ポンプの点検は大丈夫か。」「この辺りの水路の状態を把握しているのか。ボトルネックを取り除かないとこの辺り一帯が水浸しになる」などの意見も出されました。

ポンプ場も、岡山市の中で下水道の管理と農林の管理に分かれており、管理外のポンプの様子は、把握できていませんでした。

市民の皆さんの声を受けて -----

「市民ネット」では、国交省の担当、岡山県の担当との話し合いの場を設けます。

■11/8 (木) 15時 岡山県庁河川課

■11/22 (木) 13時30分国交省岡山河川事務所
(北区鹿田町2-4-36)

市民の方の参加も若干名は可能です。参加ご希望の方は、下市事務所までご連絡を。

下市このみ事務所からのお知らせ

▼11/4(日) 第39回ひまわりマーケット 10:00～
高屋公園(雨天中止)

▼11/23(金・勤労感謝の日) 第11回秋の親睦旅行
「みかん狩りとしまなみ・今治タオルめぐり」
大人7,000円 中学生5,000円 小学生3,200円

▼11/27(火) 映画上映会 10:00～ 下市事務所

▼11月定例市議会 11/30(金)～12/18(火)